

令和5年5月

## G7広島サミットの議論の中から私たちにもできること

今月はG7広島サミットが、19日から21日までの日程で開催されます。このサミットをきっかけにして、ウクライナ問題や気候変動問題など国際社会が直面している課題が少しずつでも解決に向かっていくことを期待したいと思います。



皆さんは、5月がごみや環境に関する記念日が多くある月だということをご存じでしょうか。5月3日は「ごみの日」、5月30日は「ごみゼロの日」、そして5月30日から6月5日（環境の日）までの一週間が「ごみ減量・リサイクル推進週間」となっています。

日本のごみ総排出量は、環境省の資料（令和2年度）によると年間4,167万トン（東京ドーム112杯分）にもなっており、このままの状態が続けば、家庭から出る廃棄物の場合、全国平均で約22年後に既存の最終処分場に埋められる量を超過してしまうということが環境省の白書（令和3年度）で公表されています。

私たちもできることを考えてみる必要があります。ごみを減らすためには、どのようなことが考えられるでしょうか。

まず、プラスチックや紙などの資源を有効活用することが大切です。リサイクルや再利用をすることで、新たな資源を生み出すことができます。また、使い捨て製品を減らすことも重要です。例えば、マイバッグやマイボトルを持ち歩くことで、レジ袋やペットボトルの使用を減らすことができます。また、食品ロスの削減もごみ削減の一環として取り組むことができます。食材の無駄な捨て方を減らし、残り物をリメイクすることで、廃棄物の削減に繋がります。

さらに、エネルギー消費の削減も大切です。家庭での省エネ、公共交通機関の利用、自転車や徒歩での移動など、身近なところから取り組むことができます。また、使用済みの電化製品や家具をリサイクルすることもごみ削減に繋がります。

ごみ削減は、私たちの生活に欠かせない重要なテーマです。少しでも意識を向け、取り組みを行っていきましょう。